

改革への期待が台頭した南アフリカ ～与党議長選でラマポーザ副大統領が辛勝～

nikko am
fund academy

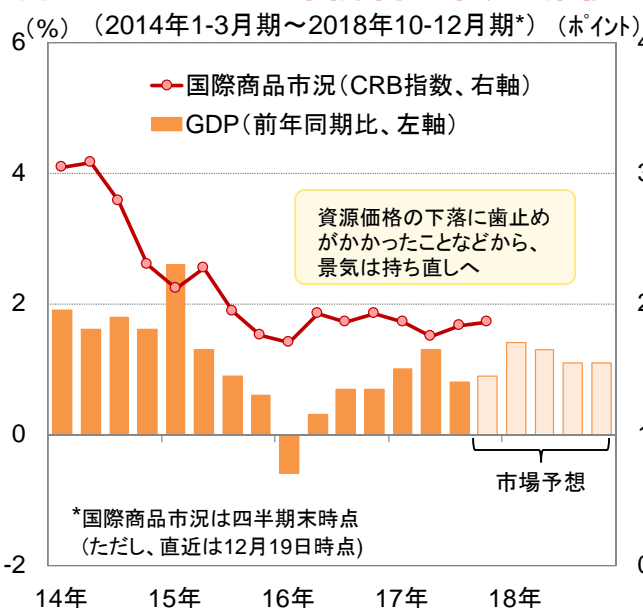
楽読 (ラクヨミ)

南アフリカでは12月18日、ズマ大統領の後継者を選ぶ、与党ANC(アフリカ民族会議)の議長(党首)選挙が行なわれ、ラマポーザ副大統領が大統領の元妻ドラミニ・ズマ氏を僅差で破りました。市場では、ラマポーザ氏が次期大統領となり、南アフリカでもいよいよ改革が動き出すとの期待などから、通貨ランドが急上昇しました。

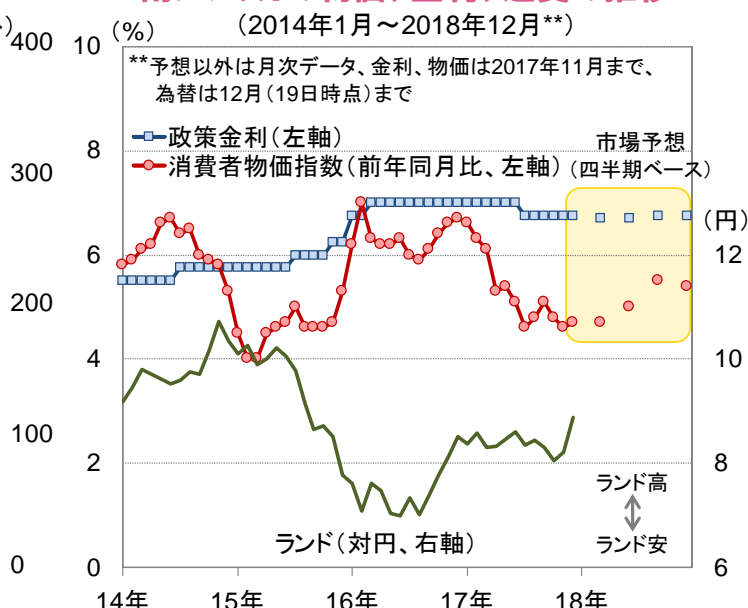
同国では、アパルトヘイト(人種隔離)政策の廃止で主導的な役割を果たしたANCが一党優位体制を長く維持してきました。しかし、同党議長や大統領を歴任したマンデラ氏が1999年に退いて以降、贈収賄や党内分裂が相次ぎ、ズマ大統領についても、公金流用や汚職などの問題が発覚しており、ANCに対する国民の支持には陰りが出ています。こうした中、今回の議長選挙では、実業界出身のラマポーザ氏が、汚職との戦いや改革を訴え、現職大統領を後ろ盾とするドラミニ・ズマ氏を破りました。2019年に予定されている総選挙では、ANCが辛うじて過半数を維持するとみられ、今回、同党の新議長となったラマポーザ氏が次期大統領に選ばれる見通しです。

ラマポーザ氏の勝利により、内外投資家の心理だけでなく、国民や企業の景況感も改善に向かうと期待されます。ただし、同氏の勝利が僅差だっただけでなく、今回、見直されたANCの主要ポストについても、ズマ派と反ズマ派が半数ずつ分け合うなど、党内は割れた状況にあります。このため、ラマポーザ氏にはまず、党内の対立修復や支持基盤の拡大、ズマ大統領の影響力排除といった、困難な役回りが求められますが、2019年の総選挙を前にANCが分裂する可能性を指摘する向きもあります。なお、今年11月には、南アフリカの自国通貨建て長期債格付をS&Pが投資不適格級に引き下げたほか、ムーディーズも投資不適格級への引き下げ方向での見直しを発表しています。ラマポーザ氏の勝利を受け、ムーディーズによる格下げのリスクは低下したとする見方もあるものの、格付の行方や、同氏の勝利が政治情勢・政策の改善につながる可能性を確認する上でも、2018年2月に発表される2018年度(18年4月～19年3月)予算案で財政健全化に向けた姿勢が示されるかどうか注目されます。

南アフリカのGDPと国際商品市況の推移



南アフリカの物価、金利、通貨の推移



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものおよび予想であり、将来を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。